

日本大学大学院総合社会情報研究科

GSSC 同窓会



目次

1. 会長挨拶
2. 組織について
 - a. 沿革
 - b. 会員
 - c. 役員
3. 活動について
 - a. 2016 年度活動方針
 - b. 年間行事およびプロジェクト
 - ① 春の学習相談
 - ② 同窓会（修了祝賀会）
 - ③ ミニ同窓会（スクーリング）
 - ④ オープン大学院
 - ⑤ 震災復興支援
 - ⑥ 「いわき通信」
 - ⑦ 入学資料配布プロジェクト
 - ⑧ 『GSSC参考文献検索の手引き』 編纂
 - ⑨ 『GSSC スタディ・ガイド』 作成
 - c. 修了生情報データベース
 - d. サポーターズ・バンク
 - e. 年間スケジュール
4. GSSC 同窓会 HP
5. 同窓会窓口
6. 同窓生からのメール

1. 会長挨拶

2016 年 3 月

拝啓 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年、日本大学大学院総合社会情報研究科同窓会（以下、GSSC 同窓会）の第 2 期会長を拝命致しました木下義文（国際情報専攻第 14 期生、現在博士後期課程在籍）と申します。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

GSSC 同窓会は、2013 年 3 月、設立準備委員の皆様、本研究科の教職員の皆様の多大なるご尽力のおかげで誕生いたしました。1999 年 4 月に我が国初の通信制大学院として発足し、2003 年 4 月には博士後期課程も開設された、通信制大学院のフロント・ランナーとしての本研究科からは、多くの修了生が巣立っていかれました。そうした修了生の皆様の生涯教育支援と交流ネットワーク作り、およびこれを基盤としての研究科の教育・研究力の向上を目的に GSSC 同窓会は設立されました。

GSSC 同窓会のこれまで 3 年間の主な活動といたしましては、新入生・現役生を対象とした文献検索方法の説明・学修相談会、日本大学通信教育部の夏期スクーリングにおいての本研究科入学資料の配布、本研究科夏期および冬期スクーリング時やオープン大学院時の同窓会などであります。また、東日本大震災の復興支援活動といたしまして「震災復興支援 in FUKUSHIMA—いわきの子供たちに本を送る—プロジェクト」や被災地の現状を伝える「いわき通信」もあります。

一方、各地域、各研究室等の単位で修了生の方々が活動され、親睦を深めていらっしゃることも聞いております。そうしたそれぞれの活動を尊重しつつ、それぞれの活動を線で結び、GSSC 同窓会の面としての活動につなげていけたら素晴らしいのではないかと考えております。

なお、GSSC 同窓会では、主に同窓会で企画したプロジェクトのお手伝いをして頂ける方のリストとして、「サポーターズ・バンク」を開設しております（GSSC ホームページ＞同窓会＞修了生情報データベースより登録）。より多くの同窓生に お力添えを頂戴できれば幸いです。

同窓生の皆様に、ご協力、ご指導賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

GSSC 同窓会 会長 木下義文

2. 組織について

a. 沿革

2013 年 3 月 25 日

日本大学大学院総合社会情報研究科（GSSC）同窓会設立

b. 会員

本会の会員は、本会の目的に賛同し、本大学院を修了した者、本大学院に入学したことがある者、教職員で構成されます。

c. 役員 第 2 期(2015, 2016 年度)

会長 木下義文（国際情報専攻）

副会長 先浦宏紀（国際情報専攻）

監事 大津良恵（人間科学専攻）

幹事 大塚奈奈絵（文化情報専攻）

「いわき通信」担当

久野明日香（文化情報専攻）

同窓会 HP ニュースレター担当

中嶋千秋（文化情報専攻）

同窓会 HP 担当 同窓会 HP 編集長

松山献（文化情報専攻）

同窓会員図書・出版関係担当

村田教枝（人間科学専攻）

芳崎文香（国際情報専攻）

教員 荒関仁志 池上清子 泉龍太郎 階戸照雄 竹野一雄

田中堅一郎 保坂敏子 松岡直美 眞邊一近

事務課職員 加藤琢哉（代表）

3. 活動について

GSSC 同窓会は研究科修了生の生涯教育継続支援と交流ネットワーク作り、およびこれを基盤としての研究科の教育・研究力の向上を目的としております。

a. 2016 年 GSSC 同窓会活動方針

- ① 学生参加 FD 活動（教育・研究力の向上）の推進
- ② 同窓会支部ネットワーク（国内外）編成

b. 年間行事およびプロジェクト

- ① 春の学習相談：新入生へのレポート作成や研究の進め方、履修、修論についてのアドバイスや質問・疑問に答え、大学院を有意義に過ごして頂くために支援します。博士後期課程研究（中間）発表会と同時開催。
- ② 同窓会（修了祝賀会）：毎年 3 月 25 日に行われる学位伝達式後の修了祝賀会と同時開催。
- ③ ミニ同窓会：毎年、スクーリング（夏期・冬期）の期間中に開催。
- ④ オープン大学院 懇親会・同窓会：毎年 10 月に開催されるオープン大学院では、各専攻の修了生および在校生による研究発表等が行われます。大学院進学相談会、図書展示会、懇親会に合わせて同窓会を開催します。
- ⑤ 震災復興支援：「震災復興支援 in FUKUSHIMA ―いわきの子供たちに本を送る―プロジェクト」では、2012 年度に 1,700 冊の図書を送りました。これらの本は、いわきの子供たちによって、市内総合病院・医院・調剤薬局へも配布されました。
- ⑥ 「いわき通信」（GSSC 同窓会 HP 参照）：いわき在住の文化情報専攻 12 期生の吉田裕美さんからの、被災地の現状を伝えるメール集です。3.11 から 5 年、これからも語り伝えていきます。
- ⑦ 入学資料配布プロジェクト：日本大学通信教育部の夏期スクーリング等において入学案内および修了生体験記を配布します。
- ⑧ 『GSSC参考文献検索の手引き』編纂：GSSC同窓会HPに掲載。随時、更改。
- ⑨ 『GSSCスタディ・ガイド』作成

c. 修了生情報データベース

同窓生の皆様へイベントのお知らせや各種案内を配信するため、皆様の連絡先メールアドレスを登録するためのデータベースです。

＜修了生のみなさま 連絡先登録をお願いします！＞

GSSC 同窓会からのご案内は、本大学院から支給された Nu-Gmail 宛てに配信されるように設定してありますが、このアドレスは、修了後、使用できなくなります。修了後の連絡先として任意のメールアドレスに変更・登録をお願い致します。変更されない場合は、支給されたメールアドレス廃止後、同窓会からのご案内・ご連絡等が届きませんのでご注意ください。登録は同窓会 HP からできます。詳しくはそちらをご参照ください。

【ご注意！】

本大学院事務局へ提出された修了後の連絡先と、GSSC 同窓会の連絡先とは別の管理となります。事務への登録を済ませた方も、同窓会への変更登録をお願いいたします。

修了生データベース（説明、入口、操作手順等）：

http://atlantic.gssc.nihon-u.ac.jp/~gssc_alumni/database.html

修了生情報データベース：http://atlantic.gssc.nihon-u.ac.jp/~gssc_alumni/database.php

d. サポーターズ・バンク

主に同窓会で企画したプロジェクトをお手伝いして頂ける方のリストです。各種プロジェクトを実施するには、同窓会役員だけでは手が足りませんので、皆様の支援を必要としています。皆様に積極的にプロジェクトへ参加して頂くことで、同窓生や在学生との交流を深めてネットワークを拡大すること、また、各種プロジェクトを通して皆様の研究や研究力の発展につなげることを目的としています。

e. 2016 年度 年間スケジュール

5 月 28 日（土）	春の学修相談 博士後期課程研究（中間）発表会同時開催
7 月 16 日（土）	ミニ同窓会（夏期スクーリング初日）
8 月	資料配布プロジェクト（日大通信教育部夏期スクーリング）

10月8日(土)	博士前期課程研究(中間)発表会
10月15日(土)	ミニ同窓会(オープン大学院)
11月18日(金)	ミニ同窓会(冬期スクーリング初日)
3月25日(土)	修了祝賀会・同窓会

*日程は都合で変更になる場合がございますので予めご了承ください。

4. GSSC 同窓会 HP : http://atlantic.gssc.nihon-u.ac.jp/~gssc_alumni/

HPへの情報掲載・投稿をご希望の方は、下記同窓会窓口まで掲載内容を添付の上、ご連絡ください。

件名:【情報掲載希望: 修了生・在校生 または 教職員】

修了生・在校生の方は中嶋千秋(同窓会HP編集長)宛てに、
教職員の方は松岡直美(文化情報専攻教員)宛てにお送り下さい。

5. 同窓会窓口 : gssc.alumni@nihon-u.ac.jp

年末年始は窓口をお休みさせていただきます。また、即日返信できない場合がありますので、ご了承ください。

6. 同窓生からのメール(2016年3月)

★3月25日当日は娘の卒業式に参列後、市ヶ谷に駆けつけます。

★日本での修了式に出席できず残念でしたが、保坂先生より修了証書(仮授与式をしていただきました。キエフでは仲間にも恵まれ、私は本当に幸せ者です。8月末にはすべての業務を終え、日本に帰国いたします。今後も日本語教育に携わっていくつもりです。

★恐縮ながら祝賀会は欠席にてお願い致します(職場を抜け出して伝達式に伺うため、夜までいられる保証がなく、祝賀会も出席で申し込むとご迷惑が掛かりかねないので...)。折角の祝賀会ですのに、無礼なお話で恐縮です。

★修了祝賀会は、1歳8ヶ月の子どもと出席させていただきます。ずっとご機嫌だと良いのですが。

★残念ながら3月25日は掛川でパラリンピックの馬術大会があり、そちらを優

先せざるを得ず欠席させていただきます。9月のリオ・パラに、私がサポートしている選手の出場が確実になりました。また応援の程よろしく願いいたします。

★「いわき通信」の吉田裕美さんから

修了式を間近に控え、お忙しい日々のことと存じます。こちらは梅が満開です。春の日差しに油断していると、裏切りの雪が降られる事もしばしばですが・・・

この時期に雪が降ると、こちらの人達は皆「そういえばあの日も雪だったねえ・・・」と3.11を昨日のこのように話始めます。思い出は住民全員それぞれで、尽きる事はありません。3.11の記憶が、日本人の意識から風化され、歴史の一部となりつつある現状を危惧する声が日本国内より、世界のマスメディアにて多く聞かれる状況の背景には、未だ明らかにされていない原発事故の原因追求と、近隣住民が抱える深刻な健康問題があると考えられます。

阪神淡路大震災を想う際にも感じる事ですが、あの日から積み重ねられた歳月を、成長した子供達の姿が物語ってくれます。

同窓会の皆様に温かく支えられ、いわきの壁新聞の子供達もこんなに大きくなりました。先週はバスにゆられて仙台に行き、自分達が一年間ふるさといわきで学んだことを発表してきました。

この発表を是非、東松島でというお話をいただき、来月また子供達と旅をする機会に恵まれました。一昨日私は、発表に行く子供達を集め、長谷川先生が語って下さったことを思い出し、子供達に話しました。「環境を理由に、知識を求める心を制限してはならない。教える者と、求める者がいる限り、学びの場は無限にある。」それはまるで、日大大学院総合社会情報研究科の存在そのもののようです。

今回、子供達と東松島に行くことになり、あらためてGSSCで学べたことを感謝しております。この大学院で学んだことを一人でも多くの子供達に伝えていきたい。これが今、福島で私がしなければならない『事』であると考えています。

先生方はじめ、同窓会の皆様、事務局の皆様、そして修了を迎えられる皆様にとって、3月25日が素晴らしい春になりますように。いわきの子供達と心よりお祈り申し上げます。

いわきにて 文化情報12期生 吉田裕美

紙幅の関係で、文章の一部と画像を省略させていただきました。全文は同窓会HP「いわき通信」でお読みください。